土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　二級河川　三津大川水系　三津大川　災害復旧事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　二級河川　三津大川水系　三津大川

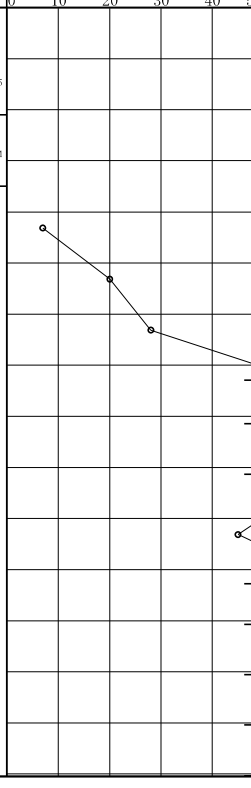
調査目的及び調査対象　道路 橋梁・高架

ボーリング名	No.3	**調査位置**	広島県東広島市安芸津町三津			**北緯**	34° 19′ 11.1519″
発注機関	広島県西部建設事務所東広島支所			**調査期間**	2021年 8月 2日 ～ 2021年 8月 7日	**東経**	132° 48′ 59.8511″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 5.17m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90°
使用機種	**試錐機**	YBM-1WA					
総削孔長	15.00m	**エンジン**	ヤンマーTR120M	**ポンプ**	YBM GP-5		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
1 2 3	1.57	3.60		埋土		暗灰～黄褐灰	rd2		完新世	深度0.5m付近まで砕石で、以深は礫混り砂。 深度1.6m付近よりφ20～70cmの玉石混り砂。 ボーリング地点は深度1.95mまで空洞(VP管保孔)、以深、今回埋戻しの砕石。 深度2.5～2.6mはCoガラ混入する。 深度2.6m～3.5mは岩片～L=100mmまでの礫が混入する。 今逸水。	08/05 2.10 08/04 3.50
4 5 6	-1.33	6.50		砂礫		暗灰～灰褐	緩い～中ぐらい			礫はφ50mmまでの亜円礫主体。 砂は細砂主体。 深度5.00mまで掘削時、全逸水する。 深度5.8m付近にt=5cmで暗灰色の有機質土を挟む。	
7 8 9 10 11	-6.13	11.30		玉石混り砂礫		褐～青灰	密～非常に密な		更新世	深度8mまでφ150mm程度までの玉石が50%程度占め、玉石間は粗砂主体。 深度8～10m間は、Φ80mm～200mm程度の玉石が80%程度以上占め、玉石間は細～中砂、細礫が埋める。 玉石は硬質な流紋岩主体で、花崗斑岩も混入する。 深度10m以深はやや砂分優位となる。	
12 13 14 15	-9.83	15.00		砂岩・礫岩		褐灰～暗青			漸新世	岩片～L=300mm程度の棒状コアで採取される。 棒状コアのものは、コア肌は荒く、ハンマーの軽打では溜音を発する。 深度12m～14m間は、岩片状～礫状コア主体となる。	

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
7	4.15 / 4.45	2	2	3	7/300		
20	5.15 / 5.45	6	7	7	20/300		
28	6.15 / 6.45	9	9	10	28/300		
58	7.15 / 7.41	20	18	12/60	50/260	260	
58	8.00 / 8.26	18	18	14/60	50/260	260	
63	9.00 / 9.24	20	19	11/40	50/240	240	
45	10.15 / 10.45	15	14	16	45/300		
65	11.15 / 11.38	11	17	22/30	50/230	230	
136	12.00 / 12.11	41	9/10		50/110	110	
188	13.00 / 13.08	50/80			50/80	80	
300	14.00 / 14.05	50/50			50/50	50	
375	15.00 / 15.04	50/40			50/40	40	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	原位置試験	削孔月日
					8/3
					8/4
					8/5
					8/6